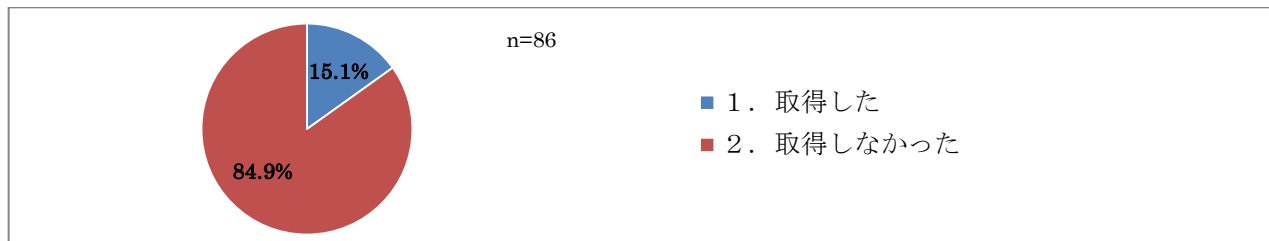
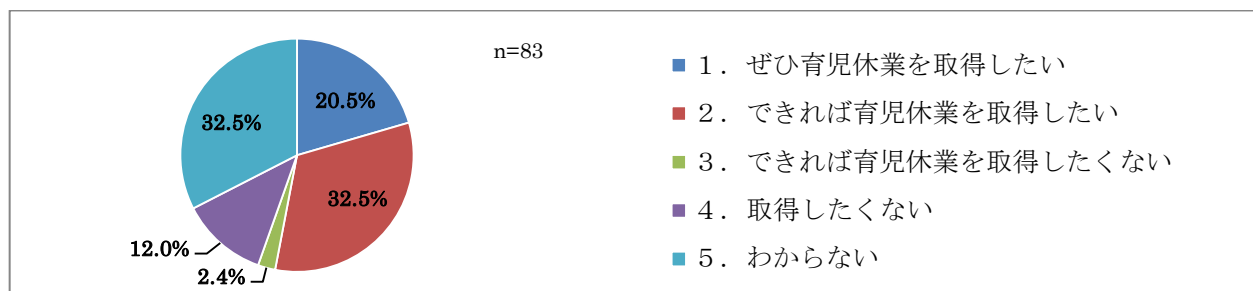


問 1 0 子どもが生まれたときに育児休業を取得しましたか、又はこれから生まれたときに取得したいと思いますか。次からあてはまる番号を選んで○をつけてください。

【これまでに生まれた子どもの時に】



【これから生まれる子どもの時に】



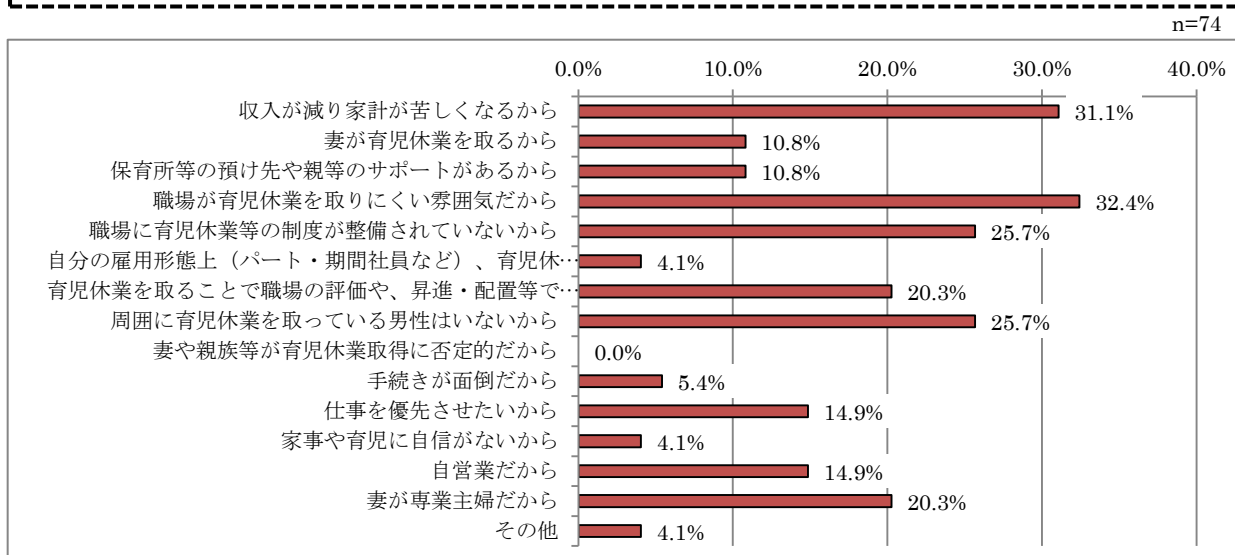
これまで育児休業を取得された方は 15.1%で、84.1%の方は取得されていない。

これから生まれる子どもの時には 53.0%の方が取得したいと考えている。

問 1 0 - 1 問 1 0 で、「取得しなかった」または「できれば育児休業を取得したくない」「取得したくない」を選んだ方にお聞きます。

取得しなかった、又は取得したくない理由は何ですか。

次からあてはまる番号を三つ選んで○をつけてください。

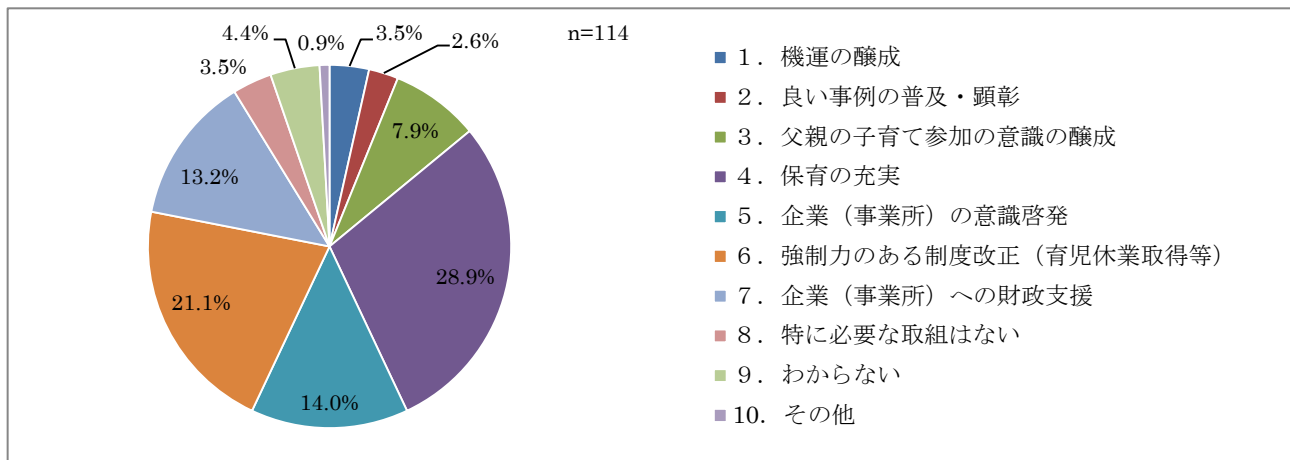


育児休業を「取得しなかった」、又は「取得したくない」理由として、「職場が育児休業を取りにくい雰囲気だから」が 32.4%、「収入が減り家計が苦しくなるから」が 31.1%、「職場に育児休業等の制度が整備されていないから」と「周囲に育児休業を取っている男性はいないから」が 25.7%となっている。

※その他

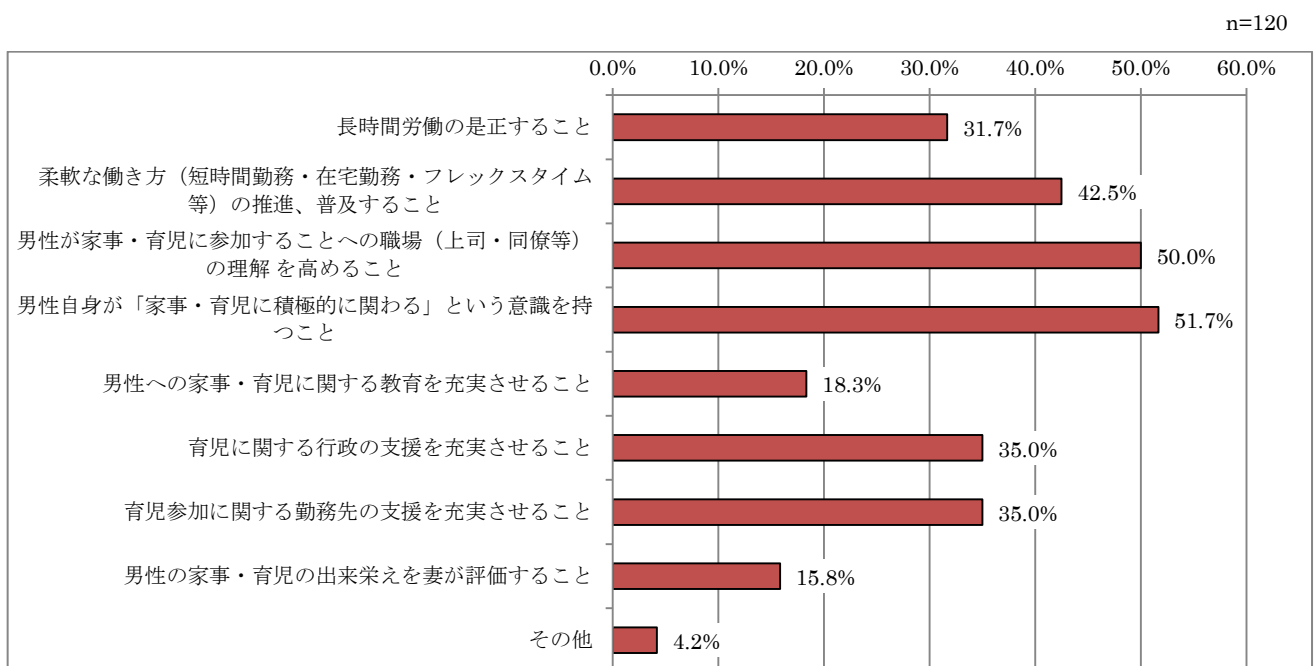
- ・休業中に給料が出ないため
- ・2年間時間短縮で働いていたから
- ・取得しなくても生活できているから
- ・子どもの病気の時にもらえる休みやあずけるところ
- ・子育て支援の強化と充実

問 1 1 仕事をしながら子育てをするために必要な取組は何だと思いますか。
次からあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。



仕事をしながら子育てをするために必要な取組みとして、「保育の充実」が28.9%で最も多く、次に「強制力のある制度改正（育児休業取得等）」が21.1%、「企業（事業所）の意識啓発」が14.0%となっている。

問 1 2 男性の家事・育児の参加について何が必要だと思いますか。
次からあてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。



男性の家事・育児の参加に必要なこととして、「男性自身が「家事・育児に積極的に関わる」という意識を持つこと」が51.7%で最も多く、次に「男性が家事・育児に参加することへの職場（上司・同僚等）の理解を高めること」が50.0%、「柔軟な働き方（短時間勤務・在宅勤務・フレックスタイム等）の推進、普及することさせること」が42.5%となっている。

※その他

- ・男性が家事、育児を手伝わなくても理解のある女性が多くなること
- ・公共または商業施設で男性も使える多目的室を充実させること
- ・父親は子どもと遊ぶ程度で十分。家事・育児に参加させることを前提に質問していることが疑問。
- ・幼い時から父母家族で子どもを育てるということを育む。
- ・わからない。